

「いのちと自然を守り育てること」

わたしたちの変わらぬテーマです。

第69期 中間株主通信

平成28年11月1日 >>> 平成29年4月30日

 **クミアイ化学工業株式会社**

証券コード 4996

CONTENTS

合併のご挨拶	2
トップメッセージ	3
トピックス	4
特集	5
連結財務諸表	7
株式情報／会社情報	9

創造する科学を通じて 「いのちと自然を守り育てる」こと。 私たちの、変わらぬテーマです。

新農業時代の幕開けとともに歩みはじめたクミアイ化学。
私たちの足跡は、そのまま我が国の農業発展の歴史でもあります。
国産農薬第一号「アソジン」や除草剤「サターン」の開発など、
画期的な技術開発を重ね、
豊かで健全な農作物の生産に貢献してきました。
その原動力は、「いのちと自然」を
世代を超えて守り育てていこうという、創業以来の願いです。

企業理念

私たちは創造する科学を通じて
「いのちと自然を守り育てる」ことを
メインテーマとし、
安全・安心で豊かな社会の実現に
貢献します。

経営ビジョン

1. 常に世界に目を向け、世界市場でリーダーシップをとるグローバル企業を目指す
2. 常に新しい価値を創造し、顧客のニーズと信頼にこたえる
3. 常に高い目標に挑戦し、活力溢れスピード感ある人間集団を形成する
4. 常に透明性ある企業活動を通じ、全てのステークホルダーとの調和を図る

新しい門出、
新しい未来、
新しい会社。



五月一日、
クミアイ化学工業は
イハラケミカル工業と
合併致しました。

新しい
クミアイ化学工業
始まる。

合併のご挨拶

このたび、クミアイ化学工業株式会社とイハラケミカル工業株式会社は、平成29年5月1日をもって合併いたしました。

これまで、クミアイ化学工業株式会社とイハラケミカル工業株式会社は、共同で新農業を創製、開発し、事業を進めてまいりました。

両社の事業の中核である農業事業は、国内では農業改革をはじめとして大きな事業環境変化の中にあり、一方海外では人口増や新興国の経済成長を背景として、農業生産の重要性がますます高まってきております。

このような国内外における農業及び農業事業を取り巻く

環境の変化が継続する事業環境下において、成長戦略の展開によって競争に勝ち残り、企業価値の最大化を図るためには、両社の統合が最善であると判断いたしました。

本統合によって、当社製品に係る皆様のご期待にお応えしていくよう、今後はより一層、消費者の安全・安心への要望を最優先にした製品の開発、生産、供給、販売の体制を構築いたします。

合併という新たな一歩により、早期にシナジーを発揮し、全てのステークホルダーの利益につながる持続的な成長を目指します。今後とも、より一層のご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。



トップメッセージ

厳しい環境の中、事業基盤の確立に注力

経営成績

当グループは、i)持続的成長の維持、ii)企業体質の強化、iii)研究開発の促進、iv)海外事業展開の推進、v)人材の育成と組織の強化の5つを重要方針として掲げ、事業を進めてまいりました。

売上高は、基幹製品である「アクシーブ剤」の出荷減少の影響により380億8千7百万円、前年同期比31億2千6百万円(7.6%)の減少となりました。損益面につきましては、営業利益は、売上高の減少及びイハラケミカル工業株式会社との合併に伴う費用の計上などから29億1千5百万円、前年同期比4億8千6百万円(14.3%)の減少となりました。一方、経常利益は、為替差益の発生などから45億2千3百万円、前年同期比1億6千4百万円(3.8%)の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加により33億4千5百万円、前年同期比2億7千2百万円(8.9%)の増加となりました。

セグメントの概況

【化学品セグメント】

国内販売部門の農耕地向け製品は、水稻用除草剤「フェノキサスルホン剤」及び同剤と「ピリミルスファン剤」との混合剤の販売は好調となったものの、他社との競合激化による「トップガン剤」などの既存主力製品の販売減少が影響し、水稻用除草剤全体では前年同期を下回りました。

一方、水稻用箱処理剤は、主力製品である「イソチアニル剤」及び同剤と「サイアジピル剤」との混合剤の販売は好調に推移しましたが、既存剤の販売が減少したため前年並みで推移しました。

園芸向け製品は、殺菌剤「ファンタジスタ剤」、「プロポーズ剤」及び、殺虫剤「スプラサイド剤」などの主力製品の販売が増加したことから、前年同期を上回りました。ゴルフ

場などの農耕地以外の分野では、芝用除草剤の販売、自社開発原体の販売及び受託加工のいずれも好調で前年同期を上回りました。

海外販売部門では、棉用除草剤「ステイプル」の米国での販売は回復したものの、直播水稻用除草剤「ノミニー」のジェネリック品との競合による販売の減少、畑作用除草剤「アクシーブ剤」の在庫調整の影響により、前年同期を下回りました。

以上の結果、化学品セグメントの売上高は358億4千6百万円、前年同期比31億4千4百万円(8.1%)の減少、営業利益は31億8千2百万円、前年同期比2億5千万円(7.3%)の減少となりました。

【賃貸セグメント】

賃貸セグメントの売上高は、引き続き保有資産の有効活用 に努めた結果、1億1千7百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は2億9百万円)、前年同期比2百万円(1.3%)の増加、営業利益は1億3千3百万円、前年同期比0百万円(0.3%)の減少となりました。

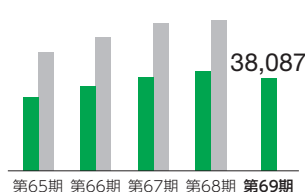
【その他】

流通事業、印刷事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業及びメガソーラーによる売電収入などで構成されるその他は、流通事業では新規取引の拡大により売上は増加したものの、備車費値上がりなどが影響し利益は前年同期を下回りました。印刷事業では既存顧客に対する販売が拡大した結果、売上、利益ともに前年同期を上回りました。メガソーラー等による売電収入は好天に恵まれ売上、利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、その他全体の売上高は21億2千3百万円、前年同期比1千6百万円(0.8%)の増加、営業利益は1億9千6百万円、前年同期比9百万円(4.8%)の増加となりました。

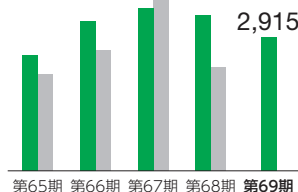
売上高 (単位: 百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



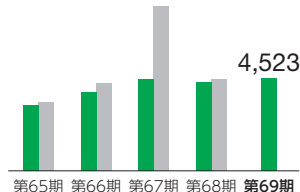
営業利益 (単位: 百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



経常利益 (単位: 百万円)

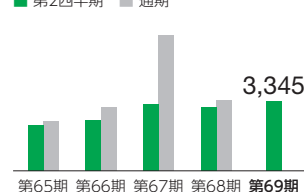
■ 第2四半期 ■ 通期



親会社株主に帰属する

四半期(当期)純利益 (単位: 百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



CSRレポート

TOPICS 1 第2回「どんぐりプロジェクト®」植樹活動

※「どんぐりプロジェクト®」は東京ガス㈱の登録商標です。

当社は、事業所のある宮城県で震災により影響を受けた緑地の回復に資することを目的とした「どんぐりプロジェクト®」活動を2012年より行っております。

昨年より、宮城県の海岸防災林再生事業（みやぎ海岸林再生 みんなの森林づくり活動）へ参画しており、本年4月22日に2回目の植樹活動を行いました。

植樹活動は、NPO法人宮城県森林インストラクター協会の指導の下、当社の社員およびその家族約70名で行いました。

今後は、育樹活動を継続して行いながら緑地の再生に向け取り組んでまいります。



TOPICS 2 第5回「学生懸賞論文」

農業教育への貢献を目的とした「学生懸賞論文」が本年で第5回を迎えました。

第5回「学生懸賞論文」は『日本の農業の未来 一魅力ある農業の創造一』というテーマで募集し、全国の学生の皆様より多くの論文を応募して頂きました。

本年は、残念ながら最優秀賞は選出されませんでした。優秀賞には以下の2名の方が受賞されました。

①農業で学び、農業を学び、農業が変わる―“農ク”を軸にした農業高校の再興―
神戸大学 農学部 藤田このむ さん

②世界が舞台、日本の農業～「食農教育」のすすめ～

北海道大学 農学部 植田宜孝 さん
(受賞論文の詳細は当社ホームページをご覧ください)。

当社は、引き続き学生懸賞論文を募集し、農業教育への貢献を図ってまいります。



安心・安全で、より優れた農薬の実現に向けて 常に革新的な研究開発を推進中。

当社の設立は、今を遡ること68年前の昭和24年（1949年）。国産初の農薬開発に挑戦し、設立から10年後に殺菌剤「アソジン」の開発・製品化に成功。以来、農薬開発のパイオニアとして業界をリードし、国内および海外の農業生産に寄与し続けてきました。これまでの事業拡大と企業成長を支えてきた源泉は、独創的かつ先駆的なアプローチによって技術革新を果たしてきた研究開発体制にあります。当社は、生物科学研究所および製剤技術研究所、プロセス化学研究所の自社施設に加えて、各地に圃場を擁し、株式会社ケイ・アイ研究所との連携を通じて、新規化合物の合成から生物評価、製剤、安全性評価、そしてプロセス開発に至るまでの高いハードルをクリアし、安全で効果的な農薬を次々に生み出しています。

農薬開発のステップ

合成

生物評価

製剤

安全性評価

プロセス開発

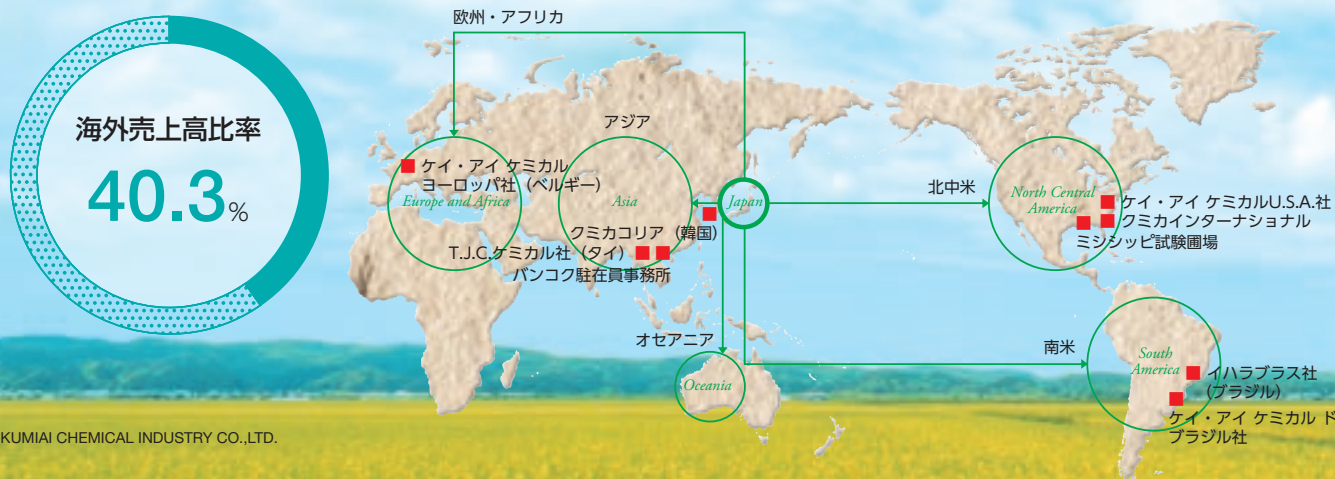
開発成果製品化

世界人口70億の「食」を支えるために農業生産のサポート。

研究開発のスピードアップで、グローバル展開を強化。

当社製品の国内販売は、農協（JA）の全国組織である全国農業協同組合連合会（JA全農）を通じて行われます。地域密着型の販売活動を基盤に、エンドユーザーである農家の方々からいただく声を、研究開発や製品ラインアップに活かしています。また、海外営業部およびグループ企業（米

国、ベルギー、タイ、韓国、ブラジル）を通じて、50カ国を超える世界各国の農業地帯に製品をお届けしています。現在、海外売上高の割合は40.3%（平成29年10月期第2四半期）。今後もグローバル展開をさらに推進し、この割合を拡大してまいります。



「株式会社ケイ・アイ研究所」の合併について

当社は、平成29年5月1日におけるイハラケミカル工業株式会社との合併により経営基盤を強化し、独自性のある研究開発型企業として持続的な成長を目指し取り組んでおります。

この度、農薬の創製から研究・開発、原体（有効成分）の調達、製剤、販売に至るプロセスをさらに一体化し、組織運営の効率化と新農薬創製研究力を強化すべく、完全子会社の株式会社ケイ・アイ研究所を平成29年11月1日付で吸収合併することといたしました。

本合併の日程

取締役会決議日	平成29年 6 月 8 日
合併契約締結日	平成29年 6 月 8 日
合併効力発生日	平成29年11月 1 日（予定）

※本合併は、当社において会社法に基づく簡易合併であり、ケイ・アイ研究所においては会社法に基づく略式合併であるため、いずれも株主総会の決議による承認を受けることなく実施いたします。

インドにおける合併事業の開始について

当社とインド共和国の農薬会社PI Industries Limited（以下「PI社」）は、インドにおける水稻用除草剤ノミニーの製造・販売のための合併事業に関する合併契約書を締結しました。

水稻用除草剤ノミニーは、当社主力製品の一つであり、除草効果に優れることから、インドでは200万ha以上の水田に使用されております。本件合併事業を通じた現地での生産・販売活動により、オリジナル品としての品質維持とジェネリック品に対する競争力強化の双方を実現することで、インドでのノミニー事業をさらに拡大してまいります。

両社は、今般の提携により一層の関係強化を図り、当社の優れた製品を提供することで、インドの農業発展に貢献してまいります。

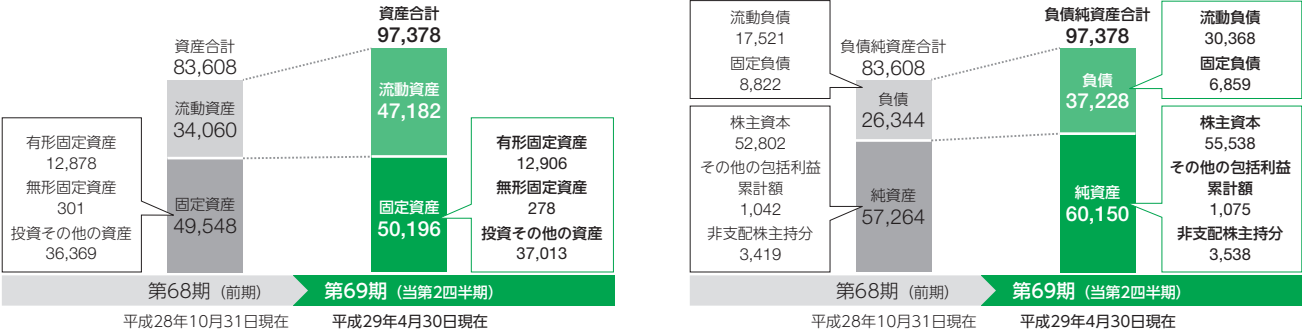
合併会社の概要

社名	PI Kumiai Private Ltd.
事業内容	インド国内におけるノミニーの製造・販売
資本金	3百万米ドル相当のインドルピー（予定）
出資比率	クミアイ化学工業側 50% PI社側 50%
本社所在地	インド共和国ハリヤナ州グルグラム
代表者	未定
販売開始時期	2018年度シーズン中

連結財務諸表

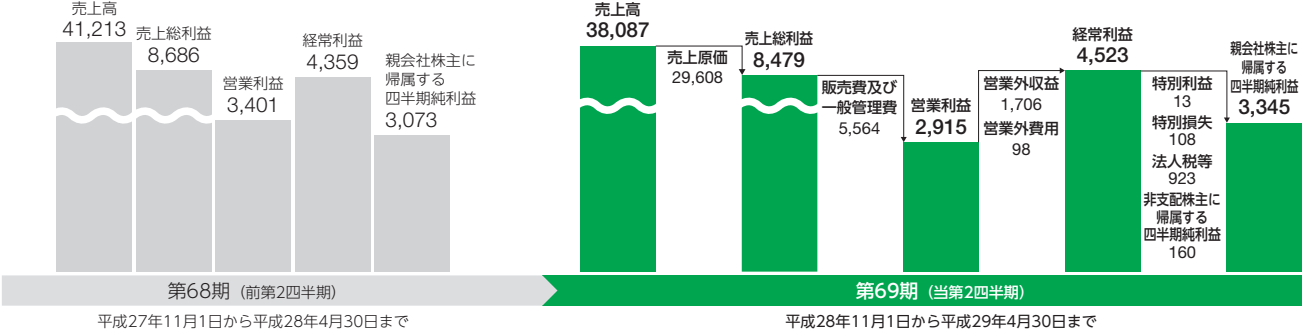
財務状況

(単位：百万円)



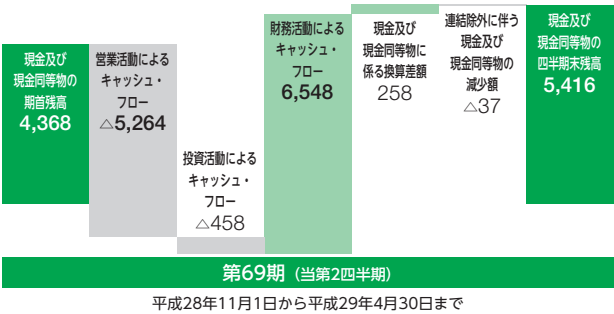
経営成績

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

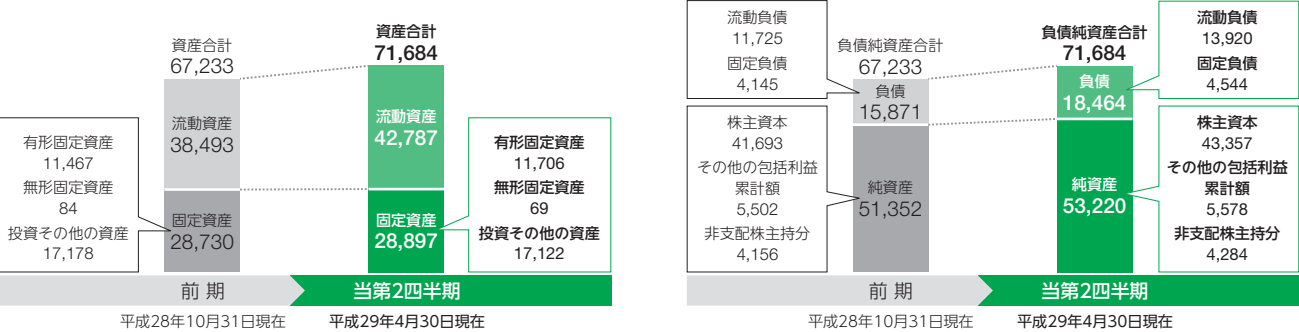


資産・負債・純資産について

- 資産の部
総資産は973億7千8百万円で、前連結会計年度末に比べ137億7千万円の増加となりました。これは主に現金及び預金並びに受取手形及び売掛金の増加が、商品及び製品の減少を上回ったことなどによるものです。
- 負債の部
負債は372億2千8百万円で、前連結会計年度末に比べ108億8千4百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金並びに短期借入金の増加が、長期借入金の減少を上回ったことなどによるものです。
- 純資産の部
純資産は601億5千万円、自己資本比率は58.1%、1株当たり純資産は712円36銭となりました。

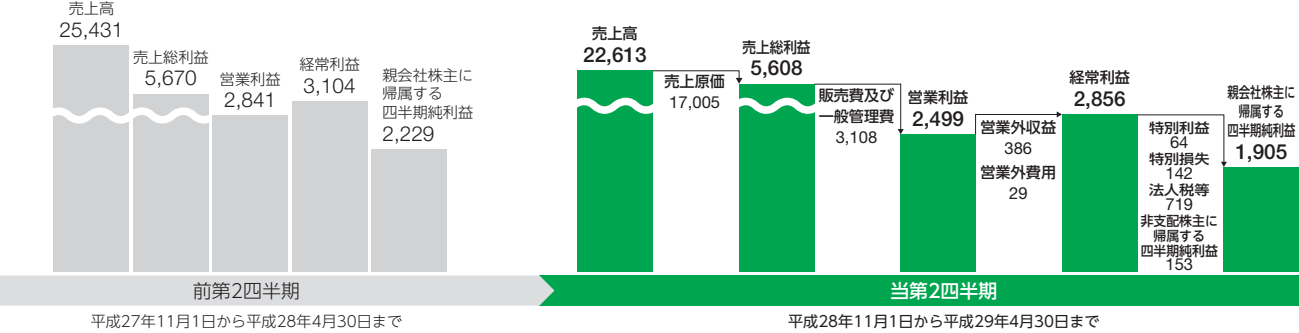
財務状況

(単位：百万円)



経営成績

(単位：百万円)



資産・負債・純資産について

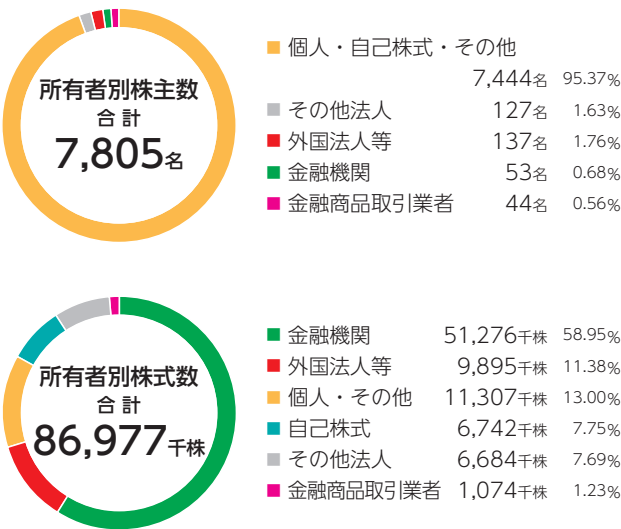
- 資産の部
総資産は716億8千4百万円で、前連結会計年度末に比べ44億5千1百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものです。
- 負債の部
負債は184億6千4百万円で、前連結会計年度に比べ25億9千3百万円の増加となりました。これは主に短期借入金、長期借入金の増加が流動負債その他の減少を上回ったことなどによるものです。
- 純資産の部
純資産は532億2千万円、自己資本比率は68.3%、1株当たり純資産は1,063円46銭となりました。

株式情報/会社情報 (平成29年4月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式総数	86,977,709株
株主数	7,805名

株式分布状況



大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
全国農業協同組合連合会	26,527	30.49
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	3,389	3.89
静岡県経済農業協同組合連合会	2,770	3.18
CGML PB CLIENT ACCOUNT/ COLLATERAL	2,647	3.04
スルガ銀行株式会社	2,609	3.00
農林中央金庫	2,588	2.97
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	2,058	2.36
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口9)	1,982	2.27
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	1,573	1.80
イハラケミカル工業株式会社	1,508	1.73

(注) 当社は、平成29年5月1日付でイハラケミカル工業株式会社と合併し存続会社となっております。なお、合併によりイハラケミカル工業株式会社の普通株式1株に対し当社の普通株式1.57株を割当交付しております。これに伴い発行済株式総数は46,206,903株増加し、133,184,612株となっております。
当社は自己株式6,740,564株（発行済株式総数に対する所有株式数の割合7.74%）を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

ここでご案内しております株式情報/会社情報はすべて、平成29年4月30日現在の情報であり、平成29年5月1日のクミアイ化学工業株式会社とイハラケミカル工業株式会社の合併後の情報は反映されておきませんのでご承知おきください。

会社概要

会 社 名：クミアイ化学工業株式会社
設立年月日：昭和24年6月20日
資 本 金：4,534百万円
事 業 内 容：殺虫剤・殺菌剤・除草剤などの農薬の製造・販売
従 業 員 数：437名（個別）
本社所在地：〒110-8782 東京都台東区池之端一丁目4番26号

取締役及び監査役

代表取締役会長	大 竹 丈 夫	取 締 役	住 吉 弘 匡
代表取締役社長	小 池 好 智	取 締 役	神 林 幸 宏
代表取締役専務	柿 並 宏 之	取 締 役	前 田 陽 一
常 務 取 締 役	尾 嶋 正 弘	取 締 役	池 田 寛 二
常 務 取 締 役	高 木 誠	常勤監査役	泉 澤 和 行
取 締 役	中 島 正 成	監 査 役	久 保 省 三
取 締 役	篠 原 卓 朗	監 査 役	鎌 野 厚
取 締 役	安 部 俊 博	監 査 役	高 橋 軍 治

（注）常勤監査役泉澤和行氏、監査役久保省三氏及び監査役鎌野 厚氏は「会社法」第2条第16号に定める社外監査役であります。

連結子会社の概要

尾道クミカ工業株式会社 広島県尾道市 ※農薬等の製造販売業
資本金100百万円 出資比率：100.0%

日本印刷工業株式会社 静岡県静岡市駿河区 ※各種印刷物等の製造販売業
資本金88百万円 出資比率：48.5%

株式会社クミカ物流 静岡県静岡市清水区 ※運送・倉庫業
資本金62百万円 出資比率：52.9%

ケイアイ情報システム株式会社 東京都台東区 ※情報サービス業
資本金50百万円 出資比率：50.0%

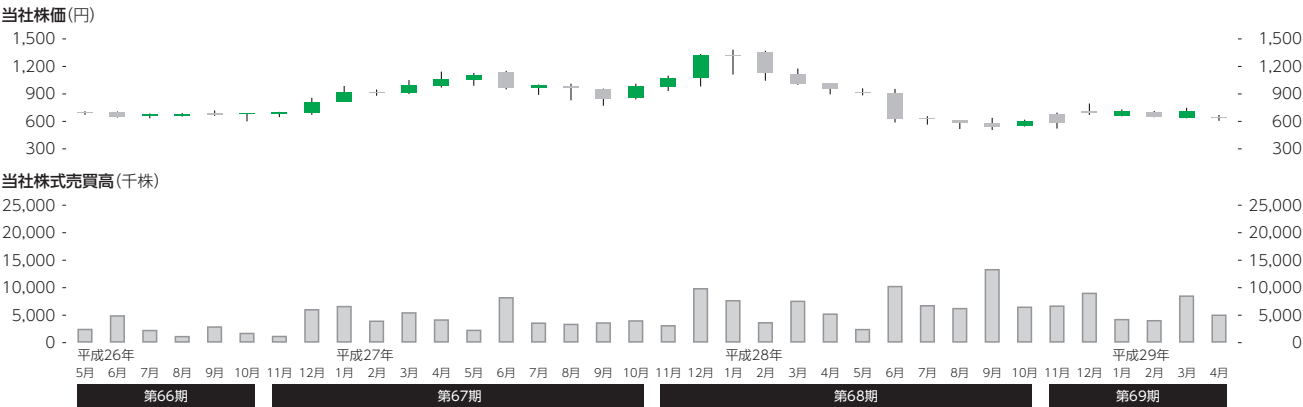
株式会社エコプロ・リサーチ 静岡県静岡市清水区 ※環境中の化学物質等計量業
資本金45百万円 出資比率：77.8%

ケイ・アイ ケミカルU.S.A. 米国ニューヨーク州 ※農薬等の輸出入
資本金2百万USドル 出資比率：50.0%

ケイ・アイ ケミカルヨーロッパ ベルギー王国ブラッセル市 ※農薬等の輸出入
資本金70万ユーロ 出資比率：50.0%

ケイ・アイ ケミカル ド ブラジル(有) ブラジル連邦共和国サンパウロ市 ※受託業務
資本金31百万リアル 出資比率：50.0%

株価・売買高の推移



株主メモ

事業年度 11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会 毎年1月中
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒137-8081
(郵送先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

基準日 定時株主総会については10月31日、その他必要
があるときは、あらかじめ公告する一定の日
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.kumiai-chem.co.jp/>
(但し、電子公告によることができない事故、
その他やむを得ない事由が生じたときには、日
本経済新聞に公告いたします。)

株式に関するお手続き等について 当社株式のお手続き窓口とお問合せ先は次のとおりです。

お手続き窓口及びお問合せ先

- お取引の証券会社等に開設されている振替口座に預託されている当社株式に関する単元未満株式買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き
 - 上記の各お手続きに関するご照会
-
- まだ受取っておられない配当金の受領に関するお手続き及びそのご照会
 - 特別口座に関する振替請求、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き
 - 株主名簿にご登録の配当金受取方法に関するご照会
 - 株主様宛郵便物等の発送と返戻に関するご照会
 - 特別口座に関する各お手続き及びそのご照会

お取引口座を開設されている証券会社等にて
お手続き又はお問合せをお願いします。

お手続き 三菱UFJ信託銀行株式会社
窓 口 全国本支店の窓口

お問合せ先 三菱UFJ信託銀行株式会社

各種お問合せ | 各種手続用紙のご請求
0120-232-711 | 0120-244-479
インターネットによるダウンロード
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

IR情報を当社ホームページで
ご覧になれます。

ホームページアドレスは次の
とおりです。

<http://www.kumiai-chem.co.jp/>



クミアイ化学工業株式会社

本社 東京都台東区池之端一丁目4番26号

※この中間株主通信に関するお問合せは下記までお願いいたします。

総務部 **03-3822-5036**

U R L <http://www.kumiai-chem.co.jp/>

**UD
FONT**



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。